

令和5年9月19日

富士見町長 名取 重治 様

中学校橋検討委員長 植松 初夫

中学校橋方針に関する意見書

中学校橋検討委員会は、中学校橋の今後のあり方や、維持管理方針について、町内の橋梁全般の維持管理の方向性を含めて多方面から意見を求めることを目的に設立されました。町より提供された情報や現地視察を経て慎重に検討を重ね、その結果を意見書としてまとめましたので、報告いたします。

①車道橋としての意見

1. 橋の必要性に関する意見（①意見N01, 7, 8, 10, 16）

中学校橋は、少子高齢化が進む町の状況から、高齢者でも車両を使って渡れる橋として重要であるとの意見が出されました。中学校橋は生活道路や通学路、災害時の避難経路として重要な役割を担っております。特に中学校橋周辺に住む地元住民の生活面では、線路より北側に商工施設や病院などが集中しているため、人も車も渡れる橋として残してもらいたいとの意見がありました。都市計画見直し検討協議会や地元住民の意見を充分踏まえたうえで、あり方を決定する必要があります。

2. 車道橋案への懸念(①意見N0 11, 14)

車道橋として維持する場合、補修工事後に残った老朽化した既存の構造部材のメンテナンスコストが課題となります。この案では現在破損している部材は補修されますが、残された部材がいつ破損するかは予測困難で、損傷が連続して起こるとその都度補修費が必要となる為、結果的にメンテナンス費用が莫大になる可能性があります。また、38年後には橋梁自体が寿命を迎え架替が必要となります。その後必要となる膨大な建設費についても考慮が必要となります。このため、長期的に多くの維持費がかかる可能性があることや現在の中学校橋の耐用年数を考慮した上で、経済的かつ持続可能な選択を行う必要があります。

3. 車道橋の必要性への疑問(①意見N0 2, 4, 6, 9)

中学校橋の交通量は少なく、周辺の迂回路やその整備状況、地域の安全性や住環境の保全を考慮すると、車道橋として維持する事を疑問視する意見が出されました。特に、対象

となる地域は狭隘な住宅街であり、車両通行可能とした場合の混雑状況や事故リスクを回避するための検討を行う必要があります。

4. 予算の配分に関する懸念(①意見NO 3, 5, 12, 15, 17)

全国的な動きとしては、地方自治体の財政状況を考慮し、住民サービスの低下を防ぐために撤去を含めた集約化を実施しています。富士見町は、中学校橋以外に維持管理が必要な多くの公共施設や道路、橋梁など、町内各地に有しています。また、都市計画道路として検討されている「中学校線」について、中学校橋を車道橋として架設すると隣接して2つの道路が建設されることから、地域間の均等な予算配分と町全体の利益を保障するための適切な方策を検討、決定する必要があります。特に問題を先送りして将来を担う子供たちへ大きな負債を残すようなことは決してないよう十分な配慮が必要です。

5. 通学時間帯への配慮(①意見NO 13)

通学時間帯の交通制限についての提案がありました。学生の安全な通学を確保するために、通学時間帯の車両通行制限を検討する必要があります。

②歩道橋としての意見

1. 地元の尊重について(②意見NO 15)

通行者は主に地元住民です。少数の意見も尊重し、車道橋か歩道橋かを検討するべきとの意見が示されました。

2. 橋や道路の維持管理コストを踏まえた歩道橋の妥当性について(②意見NO 1, 2, 3, 5, 9, 20)

将来の公共施設の維持費を考慮すると、歩道橋の新設を行い長寿命化を図ることが最も適切な選択であるという意見が出されました。特に、立沢・富士見停車場線や中新田・富士見線による県道で、国道20号から柵沢や立沢方面へ向かう道路の整備が進んでいるため、車両の通行を確保するより通行量の多い学生の安全を考慮する必要があります。現状の車両通行止めにより、子供たちは安心して通学ができています。安心安全な通学路の確保として歩道橋の新設が必要です。

3. 歩道橋に関する提案と配慮(②意見NO 4, 6, 7, 8, 10, 11, 14, 17, 18, 19, 21)

歩道橋の設置に際しては、車両が行き止まりになるため、車両の回転広場の整備や車両が富士見駅等へ回るための迂回路や富士見保育園方面への既存道路の拡幅が必要ではないかとの意見が出されました。特に、歩道橋とした場合は、高齢者の利便性を向上させるための幅員確保、バリアフリーを考慮した歩道橋の設計を検討する必要があるとの意見が出されました。また、新設橋の床板部材に関しては、耐久性を考慮して従来部材のコンクリ

ートと劣化の少ないFRPとの比較検討が必要であり、合わせて自転車やシニアカー、電動キックボードなど、多様な交通手段に配慮が必要です。

4. 富士見跨線人道橋の考慮(②意見NO 12, 16)

富士見駅横の人道橋の劣化についても意見が交わされました。未来の世代に負担を残さないために、中学校橋と富士見跨線人道橋を統合し、1つの橋梁とすることが提案されました。

③撤去について

1. 迂回路整備について(③意見NO 1)

橋の撤去は、地域の利便性や安全性を損なわないよう検討する必要があります。地域住民の生活への影響を最小限にするためにも、迂回路の整備など十分な対策が必要です。

2. 防災や学生の通学路の視点からの重要性(③意見NO2, 3, 4, 5, 6)

中学校橋の防災面や学生の通学路としての「非常に重要な機能を有している」ことについて、委員の中において意見が一致しました。ただ撤去するだけの案は反対です。

④総括

まず、公共施設全体について申し上げます。

町の道路や橋梁、上下水道などのインフラを含めた、公共施設については「富士見町公共施設等総合管理計画」において、長期的な視点をもって施設の更新・統廃合・長寿命化等の対策を計画的に行い、財政負担の軽減や平準化を実現するとされております。

人口が減少し、少子高齢化が進行する状況において税収の減少も予想される中、これらの施設をすべて維持しながら、行政サービスの低下をさせないことは困難と言えます。計画にもありますとおり、更新・統廃合長寿命化の対策を計画的に行い、私たちの世代の責務として子どもたちに将来の負担を残さず、明るい未来を思い描ける町にする必要があります。

次に、中学校橋の今後についてでございます。

「撤去案」については全員、反対意見でした。「車道橋案」については高齢化が進む上で線路より北側に商業施設や病院などが集中している富士見町の特性から、車が通行可能な機能を重要視する意見があった一方で、車道橋として残ればそれに越したことは無いが、町全体の公共施設の維持や財政状況を考慮すると困難であるという意見が多く出されました。「歩道橋案」については、地域の防災上の必要性や歩行者の安全性、

利便性など将来の持続可能性を考慮して「必要である」という意見が大半でした。

また、「歩道橋案」につきましては、自転車やシニアカーが通行できるよう検討を要すること、車両の通行が行き止まりとなることから、緊急車両や地元住民が通行する迂回路の設置など十分な検討を行うことや、歩道橋の構造については将来負担が少しでも軽減できる工法の採用を望む声がありました。

中学校橋は、地域の活性化と住民の安全確保にとって重要な役割を担っており、多角的な視点から慎重な計画が求められると思います。都市計画道路の見直しにおいても、中学校橋の今後を踏まえ十分な検討が必要です。

今回、中学校橋検討委員会にて出された慎重かつ貴重な意見を参考にいただき、安心安全なインフラの維持管理のため最適な選択をお願いし意見書といたします。

①車道橋案についてのご意見

(「第1案車道橋新設」「第2案車道橋一部補修」「第3案車道橋全面補修」について)

| NO | 意見 |
|----|--|
| 1 | 人口減少・高齢化が進むということで、生活道路として中学校橋は地元としては重要。生活や通学、防災の観点から、人も車も渡れる橋としてもらいたい |
| 2 | 第一回検討委員会の現場視察の際、旧やま家具から秋葉神社へ到る道路を見た限りでは、道路の幅員が狭く、果たして車道橋が必要なのか |
| 3 | 全体の公共施設等で予算を使うことがあると思うので、中学校橋だけに補修費として約5.8～約16.9億円かけて良いものか。 |
| 4 | 旧やま家具から秋葉神社の道路や二の沢団地内を車が行き交うことに関して、沿線に住む富士見区や富里区の住民がどう考えてるのかを参考にしながら議論が必要では |
| 5 | 西山地区の方の道路は痛んでいるが、富士見地区の方は予算が潤沢に使われているように見える。予算をもっと町全体に広げてほしい。 |
| 6 | 〇〇区としては、中学校橋はほとんど影響なく、〇〇区民にとって何か大きいメリットは感じられない |
| 7 | 今見直ししている都市計画と絡めて検討が必要では |
| 8 | 都市計画道路(中学校橋に隣接して計画)の建設は期待できないため、落合・境・本郷地区の住民の利用はないかもしれないが、利用している西山地区と富士見区の住民の意見としては生活道路、通学、防災関係の観点から補修なりして残してもらいたい |
| 9 | 地元はともかく、西山地区の方から中学校橋を渡る人はそう多くはないと思う。1から3案までの車道橋案について、検討していいものか疑問 |
| 10 | 全体の案を見ると、事業費から国の補助を除いた大体の町負担は約3億円であるので、ならば歩道橋よりも車道橋をお願いしたい。 |
| 11 | (上記意見に対して)車道橋を補修する案は、予測が難しい今後のメンテナンス費用は考慮されていないのでは。今の中学校橋をだましまし使っていくと、結局毎年毎年メンテナンス費用がかかる可能性がある。 |
| 12 | 中学校橋以外にも多くのメンテナンスが必要な橋がある中で、人口が減少して税収が減ると将来の負担になることは子供たちでも容易に想像がつくこと。将来の子供たちに、明るい未来を思い描けるそういう町にしなくてはいけないのではないか |
| 13 | 車道橋とするならば、通学時間帯は車両侵入禁止にするなど配慮いただきたい |
| 14 | 第1案の新設をはじめ第2案、3案もいずれは38年後掛替えが必要となることについて、人口減少や他のインフラの老朽化等の負のスパイラルを勘案すると、車道への案は現実的には厳しいと判断する。また、富士見町橋梁マネジメントによる評価についてはさらに推進していただき、見える化を図っていただきたい。 |
| 15 | 国土交通省は、地方自治体の財政状況を考慮し、住民サービスを維持するために集約化撤去を推奨している。他県では例えば先に行くための橋梁に隣接する橋が2km内にはない状況であれば残しているが、50m以内に橋ない迂回路があるならば、そこに住む人の不便さに対して合意形成を得たうえで、2つを1つにするなど集約化を図っている状況。そのような全国的な事例も考慮して考えるべきではないか。 |
| 16 | 生活道路や通学路、防災の観点から周辺に住む住民にとっては大変重要な橋梁。商工施設や病院などが全て役場側に集中しているため、車が通れなくなると困る。 |
| 17 | 現在見直し中の都市計画を考えたときに、もし中学校橋を建設すると2本、道ができることとなる。無駄がないように橋を検討していただきたい |

②歩道橋案についてのご意見

(「第4案歩道橋新設」「第5案歩道橋補修(床板取替)」について)

| NO | 意見 |
|----|---|
| 1 | 第一回検討委員会で、今後の町内のいろんな橋や各地の道路の舗装の維持で、結構な費用がかかる話があった。それも踏まえて考えると、歩道橋の新設が一番妥当性がある |
| 2 | 〇〇区は割と道の整備をされており、県道を通れば支障がない。〇〇区としては歩道橋でいいんじゃないか |
| 3 | 西山方面で、JRより北側に農地を所有する農家とすると、国道側から梅沢等へ向かうにも、県道を車道で回れば済むので、今後の財政状況を考えると歩道橋でも良い |
| 4 | 歩道だけにするなら、行き止まりの道路は不便であるので、転回場や迂回路の設置、または関係者以外立ち入り禁止等の看板設置を検討すべき |
| 5 | 中学校橋は中学生が通学路として利用しているので、学生がいる限り中学生の通学路の確保をぜひお願いしたい |
| 6 | これから高齢化が進む上で、町の中心部に行けるルートを確認するためにも、何かしらの橋は必要。富士見駅跨線橋が渡り心地が良くないので、中学校橋を歩道橋として新設するなら、幅員2.0m以上の、高齢者も渡りやすい橋にすればと思う。 |
| 7 | 車一台分が通行できる規模の迂回路を整備するにも、その道が緊急車両の通行などにメリットがあるか |
| 8 | 中学校橋を歩道橋として新設するなら、自転車も通れるような方策でやっていただいた方が当然利用される方にはメリットになる |
| 9 | 車両通行止め前の、車で通れた頃はすれ違いができず不便な道で、迂回していた。現在は車両通行止めとなり、通学路としては安心できる道になったので、ぜひとも歩道だけでも残してもらいたい |
| 10 | 行き止まりの道はどうかと思うので、せめて転回路は必要では |
| 11 | 新設も第5案のような、劣化の少ないFRPを使用すれば良いのでは |
| 12 | 富士見駅横の人道橋も状態が悪い状況。近い将来、その橋も架替を検討することを踏まえて考えてもらいたい |
| 13 | 中学校橋について費用便益の検討をしたらどうか |
| 14 | 第4案について、コンクリートではなくFRPで新設した場合のLCC等を検討したらどうか |
| 15 | 通るのは地元。地元で再度車道橋にするか歩道橋にするか検討が必要では。またそれは尊重してもらいたい |
| 16 | とにかく、未来に今の子供たちに負担をできるだけ残さない、そういうことを考えていく必要がある。同じところに橋を掛け替えるのではなく、状態が悪くなっている富士見駅横の跨線橋とまとめて、2つを1つにすることを考える必要があるのではと思う |
| 17 | 高齢者は階段の上り下りが大変なことであるため、考慮いただきたい |
| 18 | 将来にわたってメンテナンスを考えたときに、FRPの方がいいのかコンクリートなのか、メンテナンス費用や工事費用を考えたときにどっちがいいのか、先行きの見通した上で試算していただけたらありがたい |
| 19 | シニアカーや電動キックボード等も通れるような橋で検討願いたい |
| 20 | 歩道案については第4案が100年間の長寿命によるメリットが大きく、現実的だと思われる |
| 21 | 保育園側への迂回路を整備することができれば、住民も線路より上にある西友や農協などの施設へ行きやすくなるのではないか |

③撤去案についてのご意見 (「第6案撤去」について)

| NO | 意見 |
|----|---|
| 1 | 撤去することで迂回という行動や声が出ますので、私が住民の立場で撤去するのであれば迂回路の整備もメニューに入れてほしい |
| 2 | ただ中学校橋をなくすっていうことは多分できないんじゃないかと思うしやって欲しくないと思う |
| 3 | 防災だとかいう面、あるいは学生の通学路ということで、ただ中学校橋をなくすのはもう論外である |
| 4 | 生活や防災の観点からも、中学校橋をそのまま無くすことは絶対にやってはいけないこと、反対 |
| 5 | なくなることはもってのほか |
| 6 | 最初から撤去案ありきではなく、車道案・歩道案および近隣住民の思いも反映しつつ、また、他のインフラ整備とのバランスを考慮に入れて、最終案に持っていったら |